

防波堤が津波高低減。役割。

釜石港湾口防波堤により、津波の高さは約4割低くなっていた。

釜石湾の入り口に南と北から伸びる2本の湾口防波堤。湾の開口部を挟んで長さ990mの北堤と長さ670mの南堤があったが、巨大津波によって破壊された。だが、被災したとはいえ、この堤防により津波の高さが抑えられ、海岸部の防波堤を越える時間を遅らせ、遡上する高さを低減させている。

釜石港沖合のGPS波浪計のデータを用いて計算した結果、湾口防波堤がないと考えた場合の釜石湾奥部の津波高は13.7m。一方現地の実地の痕跡高は8.1mのため、湾口防波堤により津波高を約4割低減することができた。



防波堤 有/無を計算で比較

